



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,968	△1.2	1,704	△30.7	2,370	△22.3	1,478	△22.1
26年3月期第3四半期	13,129	△0.2	2,460	△10.0	3,050	1.7	1,897	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,890百万円(△50.3%) 26年3月期第3四半期 3,804百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	19.10	—
26年3月期第3四半期	24.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	58,065	20,182	34.8
26年3月期	51,482	18,865	36.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 20,182百万円 26年3月期 18,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,557	△1.3	1,650	△32.8	2,359	△26.3	1,403	△27.7	18.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	83,522,024株	26年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	6,220,740株	26年3月期	5,732,924株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	77,389,876株	26年3月期3Q	77,794,493株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについても、当面弱さが残るものの、緩やかに回復していくことが期待されています。また、当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費は、底堅く推移いたしました。消費者マインドには弱さがみられます。

このような状況の下、当社は川崎競馬場の商業施設建設や、東京よみうりカントリークラブのベントグリーンの全面改修など、所有地の有効活用や価値の向上を図ると共に、新規オープンしたショッピングセンターへフランチャイジーとして、親子向け屋内遊戯施設「キドキド」と世界のあそび道具の専門店「ポーネルドショップ」を併設した「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」を出店するなどし、事業の更なる拡大に努めてまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比2日減の47日開催されました。6月には重賞競走「関東オークス」、12月には「全日本2歳優駿」などが開催され、「関東オークス」の開催時には、サッカーW杯日本代表応援イベントを実施し場内を盛り上げました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同四半期比2日増となる80日実施され、前年を上回る入場者で賑わいをみせました。なお、10月には商業施設建設に伴う3号スタンドの解体工事が完了し、建設工事に着手いたしました。船橋競馬は、前年同四半期比1日増の40日開催されました。5月にビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日に主催した「おうまフェス2014～親子であそぼ。～」では、多くのイベントを開催し好評を博しました。また、前年10月にスタートしたJRAの場外発売「J-PLACE船橋」は39日実施され、好調に推移いたしております。なお、駐車場の一面にスーパーマーケットを建設し、10月より事業会社へ賃貸を開始しております。なお、本年6月のナイター競馬開始に向け、照明設備等の設置工事を実施いたしております。船橋オートレースは、前年同四半期比1日増の53日開催されました。5月に恒例のGI「黒潮杯」、6月には5年ぶりにGI「プレミアムカップ」が開催されました。なお、8月に船橋オートレースの施行者である千葉県及び船橋市より、平成27年度末をもって船橋オートレース事業を廃止するとの発表がなされております。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同四半期比2日減の273日実施されました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は前年と同数、船橋競馬は2日増、船橋オートレースは7日減となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、メンバーによる利用は堅調に推移いたしましたが、6月の雨天によるキャンセルの影響などにより、入場者は減少いたしました。なお、9月には、クラブハウスレストランにて恒例の「丘の上JAZZライブ」を開催し、ご好評をいただきました。また、50周年記念事業として耐暑性に優れた新種のベントグリーンへの改修が完了し、10月から使用を開始しております。なお、新ベントグリーンで12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は、前年を上回る入場者で賑わいました。よみうりゴルフ倶楽部は、外部営業によるコンペの獲得が奏功し、入場者は増加いたしました。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連携した恒例のディナーイベントを開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、優待チケットの発行やインターネット予約限定割引などの施策を積極的に展開したものの、7月及び8月の台風接近や11月の雨天によるキャンセルの影響などにより、入場者は減少いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、タイムリーな優待施策が好評を得るなどした結果、6月及び8月の雨天による影響などがあつたものの、入場者は増加いたしました。

遊園地部門の遊園地では、昨年3月に完成した全天候型多目的ホール「日テレらんらんホール」にてトップアスリートによるミュージカルやボリョイステージサーカスなど多彩なイベントを開催し、好評を博しました。また、4月に新規オープンしたパーベキューパークJU-JUは、団体客を中心に、多くのお客様で賑わいをみせております。さらに、春には著名な華道家による桜をテーマにプロデュースした恒例のイベント「SAKURAKUEN」が過去3年間で最高の入園者数を記録いたしました。ゴールデンウィークに開催した「全国ご当地大グルメ祭2014」は、過去最高だった前年に次ぐ売上を記録するなど、多くのお客様で賑わいました。初夏には、6回目の開催となるほたる鑑賞イベント「ほたるの宵」を開催し、菓子メーカーとタイアップし設置した「小梅ちゃん」灯ろうなどが会場の雰囲気盛り上げました。夏期は、清涼飲料水メーカーとコラボレートし、CMで話題のイベントを日本で唯一常設したほか、人気アーティストが遊園地をプロデュースする「よみUReeeNランド」を展開し、好評を博しました。10月末からは5年目となる世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催しております。今年は、球数を300万球に増やし、新たに日テレらんらんホールを中心としたエリアを森をイメージしたフォレストエリアとして拡張いたしました。また、アクアエリアで好評の噴水ショーは2倍の規模に強化するなどしたほか、様々なイベントを開催し好評を博しております。これらの結果、11月には今世紀最高の入園者を記録するなど、遊園地の入園者は増加いたしました。なお12月の3日間には、ジュエルミネーションの好評を受け、最寄駅の京王よみうりランド駅に新宿行の上り特急列車の一部が期間限定で臨時

停車いたしました。プールWAIは、引き続きエンターテイメントプールとして、前年より水量を倍にした放水とオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスプラッシュ」や、人気のおもちゃのアヒルレースなど多くのイベントを開催し、好評を博しました。しかしながら、梅雨明けの遅れや8月下旬からの低気温などの影響により、過去最高だった前年に比べ入場者は減少いたしました。昨年3月に10周年を迎えた温浴施設「丘の湯」は、竹灯ろうの設置や大抽選会の開催など様々なイベントを開催いたしました。これらの結果、夏期のプール入場者の減少によりプール帰りのお客様が減ったものの、入場者は前年並みに推移いたしております。なお、丘の湯プラザの中華レストランにて「ほたるの宵」と連携した「天安ほたるディナー」や季節ごとの特別メニューが好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、6月に風呂水などを湯冷めしにくいナノ水にするなどのリニューアルを実施し好評を得たことなどにより、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン(練習場)は、パッティング大会やアプローチ大会を開催し好評を博しましたが、台風の影響などにより入場者は減少いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、よみうりランド店独自の企画などを開催し好評を博しましたが、消費税率引上げの影響などにより入場者は減少いたしました。11月に、新規にオープンしたショッピングセンター「グランツリー武蔵小杉」内に、「キドキド」と世界中から厳選された遊び道具を販売する「ボーンランドショップ」が併設された「あそびのせかい グランツリー武蔵小杉店」を出店いたしました。クリスマス直前には大変な賑わいをみせるなど、入場者は想定を大きく上回り、好調に推移いたしております。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は114億4千2百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、10億5千1百万円(同13.7%減)、サポートサービス事業の売上高は、連結内部からの受注が増加したことなどに伴い、22億6百万円(同12.8%増)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は129億6千8百万円(前年同四半期比1.2%減)、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより17億4百万円(同30.7%減)、経常利益は23億7千万円(同22.3%減)、四半期純利益は14億7千8百万円(同22.1%減)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね当初の計画通りに業績が推移するものと見込んでいるため、平成26年5月9日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,747,696	2,792,250
受取手形及び売掛金	895,886	919,551
たな卸資産	163,921	144,223
繰延税金資産	110,208	130,595
その他	296,545	567,639
貸倒引当金	△899	△629
流動資産合計	4,213,359	4,553,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,465,964	18,916,595
土地	14,175,105	15,561,939
建設仮勘定	2,314,663	5,179,502
その他（純額）	1,855,428	1,718,932
有形固定資産合計	35,811,161	41,376,969
無形固定資産		
その他	95,840	96,135
無形固定資産合計	95,840	96,135
投資その他の資産		
投資有価証券	10,731,406	11,373,206
繰延税金資産	161,661	175,468
その他	468,631	490,520
投資その他の資産合計	11,361,699	12,039,194
固定資産合計	47,268,701	53,512,299
資産合計	51,482,060	58,065,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	789,206	441,489
短期借入金	1,470,000	2,940,000
1年内返済予定の長期借入金	433,000	—
未払法人税等	220,941	341,795
賞与引当金	123,563	31,134
その他	3,266,469	2,723,030
流動負債合計	6,303,180	6,477,450
固定負債		
長期借入金	—	4,000,000
繰延税金負債	1,923,374	2,227,673
退職給付に係る負債	558,033	537,050
長期預り金	23,395,418	24,233,835
その他	436,481	407,223
固定負債合計	26,313,307	31,405,782
負債合計	32,616,488	37,883,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,552
利益剰余金	6,795,379	7,885,839
自己株式	△1,918,378	△2,104,120
株主資本合計	15,660,583	16,565,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204,988	3,618,307
繰延ヘッジ損益	—	△913
その他の包括利益累計額合計	3,204,988	3,617,394
純資産合計	18,865,571	20,182,696
負債純資産合計	51,482,060	58,065,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,129,942	12,968,081
売上原価	9,436,019	9,902,079
売上総利益	3,693,923	3,066,002
販売費及び一般管理費	1,233,725	1,361,421
営業利益	2,460,197	1,704,580
営業外収益		
受取配当金	178,097	214,930
建設発生土受入金	404,120	416,051
その他	28,792	53,311
営業外収益合計	611,010	684,294
営業外費用		
支払利息	17,333	16,300
その他	3,576	1,602
営業外費用合計	20,910	17,903
経常利益	3,050,297	2,370,971
特別利益		
固定資産売却益	29,148	—
特別利益合計	29,148	—
特別損失		
固定資産除却損	85,469	137,327
災害による損失	—	6,769
特別損失合計	85,469	144,097
税金等調整前四半期純利益	2,993,976	2,226,873
法人税、住民税及び事業税	916,525	706,552
法人税等調整額	180,450	42,129
法人税等合計	1,096,975	748,681
少数株主損益調整前四半期純利益	1,897,001	1,478,191
四半期純利益	1,897,001	1,478,191

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,897,001	1,478,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,907,768	413,319
繰延ヘッジ損益	—	△913
その他の包括利益合計	1,907,768	412,406
四半期包括利益	3,804,769	1,890,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,804,769	1,890,597
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,419,830	1,217,118	492,994	13,129,942	—	13,129,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,980	1,733	1,462,748	1,472,461	△1,472,461	—
計	11,427,810	1,218,851	1,955,743	14,602,404	△1,472,461	13,129,942
セグメント利益	2,714,615	743,497	106,294	3,564,407	△1,104,209	2,460,197

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,104,209千円には、セグメント間取引消去1,787千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,105,996千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,434,733	1,049,139	484,208	12,968,081	—	12,968,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,254	2,295	1,722,002	1,732,552	△1,732,552	—
計	11,442,987	1,051,435	2,206,210	14,700,634	△1,732,552	12,968,081
セグメント利益	2,171,766	642,225	156,161	2,970,153	△1,265,573	1,704,580

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,265,573千円には、セグメント間取引消去△34,305千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,231,267千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。